



自主防災組織について（平成 16 年 12 月定例会）

山口県の自主防災組織率は、平成 16 年 4 月 1 日現在、42.8%。15 年度のランキングでは全国第 34 位です。

県内の消防団員は過疎化や高齢化により、この 10 年間で 500 人も減少しており大きな問題となっています。このため、今後は、鹿野の女性分団のように、女性の能力を積極的に活用していくべきだと思います。

実効ある活動を伴った自主防災組織とするために、市町村への指導を強化し、また、女性が活躍する自主防災組織を全県下に広めていただきたいと思いますが、お考えをお尋ねします。

【総務部長答弁】

組織の要となるリーダーの方々の育成を図っていくことが何よりも重要であると考えており、今後は、市町村への指導を更に強化することといたしております。

また、防災マップの促進など、新たな取組を通して、その意義を十分理解し、実践する組織となるよう、市町村と連携しながら積極的に取り組んでまいります。

女性消防団員が、出火防止や初期消火、応急救護活動等において、その能力を十分発揮していただくなど、女性が活躍する組織が広がっていくように、市町村や消防関係機関・団体と連携を図りながら取り組んでまいります。